



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日

東・名

上場会社名 中央発條株式会社

上場取引所

コード番号 5992

URL <https://www.chkk.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北浦 啓一

問合せ先責任者(役職名) 総合企画部長

(氏名) 藤田 誠一

(TEL) 052-624-8539

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	83,128	1.1	2,086	△30.4	3,571	△20.8	11,497	308.2
2025年3月期第3四半期	82,250	6.0	2,996	201.9	4,509	86.1	2,816	92.3
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		9,222百万円(-%)	2025年3月期第3四半期		△1,224百万円(-%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 錢	円 錢
2026年3月期第3四半期	455.73	—	—
2025年3月期第3四半期	111.60	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	150,059		88,684		56.1	
2025年3月期	142,907		81,045		53.7	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 84,215百万円 2025年3月期 76,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢 —	円 錢 14.00	円 錢 —	円 錢 26.00	円 錢 40.00
2026年3月期	—	30.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	110,000	△0.1	2,500	△43.0	3,800	△26.2	11,500	519.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一 、除外 一社 (社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細につきましては、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期 3Q | 25,542,396株 | 2025年3月期 | 25,542,396株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期 3Q | 316,605株 | 2025年3月期 | 309,434株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2026年3月期 3Q | 25,229,603株 | 2025年3月期 3Q | 25,239,605株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

参考資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における主要取引先の売上高は、新製品スタビライザ（ODDS）の出荷の増加及び前年生じた一部の取引先における生産停止影響の解消もあり国内売上高は増加し、海外売上高も一部の地域を除き全体では増加し、グローバル全体での売上高は増加いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同期に比べ8億7千8百万円増収（前年同期比1.1%増）の831億2千8百万円となり、同期間での売上高は過去最高となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が前年同期に比べ9億9百万円減益の20億8千6百万円（前年同期比30.4%減）、経常利益は前年同期に比べ9億3千7百万円減益の35億7千1百万円（前年同期比20.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、昨年11月に投資有価証券の売却を実施し、約129億円の売却益を計上したことから増加し、前年同期に比べ86億8千1百万円増益の114億9千7百万円（前年同期比308.2%増）となりました。

営業利益については、昨年7月30日付「中長期経営計画2030」において開示しました通り、藤岡工場事故災害の反省から安全最優先の取組みを強化する方針のもと、

1. 設備の安全対策として、事故の未然防止を強化する安全対策投資
2. 老朽設備更新を中心とした設備更新投資
3. 暑熱対策や職場を汚さない設備の導入による、安心して働く職場環境改善投資
4. 安全、品質、コンプライアンスを実現するための時間やリソース確保

の4つの事項に対する設備・人的投資を進めたことから「意志ある固定費」が増加し減益となりました。本固定費の増加は当期の通期連結業績予想には織り込み済みであり、計画的な支出となっております。

一方、増益影響としては、新技術を搭載した新製品スタビライザ等の高付加価値製品の増加による収益構造の改善、グローバル調達ソーシングの改善による直材費低減を柱とする過去最高レベルでの合理化改善に加え、労務費及び鋼材、資材等のインフレ影響に対する売価反映は順調に進捗しております、「意志ある固定費」の増加影響を相殺する努力を最大限実施しております。北米においては、当第3四半期から関税影響が本格化し利益の押し下げ要因となっています。一方、お客様との売価反映交渉は進捗しており、主要なお客様に対しましては当年度に発生する関税影響のほぼ全額を売価反映できる見込みとなっております。当年度決算においては、回収時期ずれが一部発生する可能性がありますが、翌年度には回収可能となります。関税影響が解消されれば、北米は対前年で増益基調となっております。

なお、投資有価証券の売却は、「中長期経営計画2030」にて策定した財務戦略における金融資産の売却計画に沿ったものです。この資金については、今年度の設備投資計画80億円に充当するとともに、コイルラインの老朽更新を進めるための余力づくり、最新設備や再生エネルギー導入など、先進的な取組みを行うモデルライン構築のため今年春に着工を計画している藤岡工場の新棟（第12工場）建設に対し充当する計画であり、将来成長と経営基盤強化投資に活用いたします。

今年度の通期連結業績予想については、最近の為替相場の状況を鑑み、期末為替前提を円安方向に修正するため、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益を本日公表の通り上方修正いたします。投資有価証券売却益の業績予想修正については、昨年11月28日時点公表に既に織り込まれております。

昨年3月6日に発生させた事故災害を二度と起こさない、全ての従業員が安全・安心に働くことができる安全最優先の取組みを強化し、世界一クリーンなばねメーカーとなれるよう職場環境の改善を確実に実施し、経営基盤を強化してまいります。その上で、商品力強化、新分野進出、原価低減を柱とする成長戦略、それを実現するための成長投資、その両輪となる株主還元を柱とする財務戦略を実践し、企業価値の向上をはかってまいります。

今後も当社競争力の源泉であるコアコンピタンスを最大限に生かし、お客様のニーズを捉えたクリエイティブな提案ができるプロポーザブルカンパニーとして、全従業員が一丸となり成長を続けてまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

[日本]

売上高632億6百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益20億8千8百万円（同37.9%減）となりました。

[北米]

売上高67億9千1百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益1億4千4百万円（同35.8%減）となりました。

[中国]

売上高81億6千2百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益4億2千8百万円（同79.4%増）となりました。

[アジア]

売上高133億4千5百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益10億6千4百万円（同44.5%増）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は662億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ103億5百万円増加（18.4%増）いたしました。これは主に現金及び預金の増加（109億2千6百万円）によるものであります。

固定資産は837億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ31億5千3百万円減少（3.6%減）いたしました。これは主に投資有価証券の減少（53億6千5百万円）と機械装置及び運搬具の増加（26億8千8百万円）などによるものであります。

この結果、総資産は1,500億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億5千2百万円増加（5.0%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は295億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億7千4百万円増加（15.1%増）いたしました。これは主に未払法人税等の増加（39億9千2百万円）や1年内返済予定の長期借入金の増加（30億円）と未払金の減少（25億2千2百万円）などによるものであります。

固定負債は318億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億6千万円減少（12.1%減）いたしました。これは主に長期借入金の減少（30億8百万円）や繰延税金負債の減少（15億4千5百万円）などによるものであります。

この結果、負債合計は613億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千6百万円減少（0.8%減）いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は886億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億3千8百万円増加（9.4%増）いたしました。これは主に利益剰余金の増加（100億8千4百万円）とその他有価証券評価差額金の減少（33億7千3百万円）などによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.1%（前連結会計年度末は53.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は最近の業績動向等を踏まえ、2025年11月28日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,653,337	32,580,266
受取手形及び売掛金	16,005,619	14,466,669
電子記録債権	2,736,028	3,420,360
商品及び製品	3,049,963	3,678,148
仕掛品	1,643,961	1,550,764
原材料及び貯蔵品	9,272,872	8,909,814
未収入金	272,523	392,738
その他	1,374,447	1,312,143
貸倒引当金	△25,107	△21,765
流動資産合計	55,983,645	66,289,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,848,161	34,327,792
減価償却累計額	△26,330,640	△27,142,530
建物及び構築物（純額）	6,517,521	7,185,262
機械装置及び運搬具	71,344,265	75,907,342
減価償却累計額	△56,277,699	△58,152,373
機械装置及び運搬具（純額）	15,066,566	17,754,968
土地	9,594,099	9,948,301
建設仮勘定	7,459,310	5,215,787
その他	11,764,910	12,074,307
減価償却累計額	△10,849,605	△11,122,618
その他（純額）	915,305	951,689
有形固定資産合計	39,552,801	41,056,009
無形固定資産		
ソフトウエア	197,057	237,389
その他	61,848	57,626
無形固定資産合計	258,905	295,016
投資その他の資産		
投資有価証券	31,720,071	26,355,003
長期前払費用	427,456	424,467
繰延税金資産	284,938	247,680
退職給付に係る資産	14,317,554	15,025,148
その他	372,604	377,823
貸倒引当金	△10,426	△10,426
投資その他の資産合計	47,112,199	42,419,696
固定資産合計	86,923,906	83,770,721
資産合計	142,907,552	150,059,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,435,061	12,090,241
電子記録債務	1,404,902	1,686,451
短期借入金	668,500	350,000
1年内返済予定の長期借入金	21,840	3,022,560
リース債務	115,216	137,525
未払金	3,250,191	728,041
未払費用	2,116,873	2,446,152
未払法人税等	461,365	4,454,234
賞与引当金	1,678,122	896,707
役員賞与引当金	52,600	40,063
製品保証引当金	2,398,078	2,397,710
災害損失引当金	151,904	-
事業構造改善引当金	81,787	1,543
その他	858,353	1,318,311
流動負債合計	25,694,797	29,569,543
固定負債		
長期借入金	23,087,360	20,078,960
リース債務	231,694	293,738
繰延税金負債	11,445,886	9,900,207
役員退職慰労引当金	33,408	41,510
退職給付に係る負債	1,143,831	1,260,370
資産除去債務	125,925	127,223
その他	99,097	104,203
固定負債合計	36,167,204	31,806,213
負債合計	61,862,001	61,375,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,055,911	11,055,911
利益剰余金	29,962,755	40,047,628
自己株式	△309,523	△312,375
株主資本合計	51,546,352	61,628,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,621,140	16,247,628
為替換算調整勘定	1,750,535	2,914,456
退職給付に係る調整累計額	3,831,980	3,424,657
その他の包括利益累計額合計	25,203,656	22,586,741
非支配株主持分	4,295,541	4,468,990
純資産合計	81,045,550	88,684,104
負債純資産合計	142,907,552	150,059,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	82,250,415	83,128,918
売上原価	72,035,495	73,454,941
売上総利益	10,214,919	9,673,977
販売費及び一般管理費	7,218,571	7,587,034
営業利益	2,996,348	2,086,942
営業外収益		
受取利息	96,394	108,814
受取配当金	1,047,412	1,244,094
為替差益	416,543	381,628
その他	171,069	99,216
営業外収益合計	1,731,419	1,833,753
営業外費用		
支払利息	95,004	111,889
固定資産除売却損	80,494	154,205
その他	43,253	83,080
営業外費用合計	218,752	349,175
経常利益	4,509,015	3,571,519
投資有価証券売却益	—	12,886,505
受取保険金	—	198,383
関係会社清算益	69,806	—
特別利益合計	69,806	13,084,888
減損損失	169,338	—
事業構造改善費用	240,714	—
特別損失合計	410,053	—
税金等調整前四半期純利益	4,168,768	16,656,408
法人税等	1,243,317	5,015,740
四半期純利益	2,925,450	11,640,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	108,805	142,885
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,816,645	11,497,782

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,925,450	11,640,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,004,703	△3,359,209
為替換算調整勘定	627,429	1,346,748
退職給付に係る調整額	△772,692	△405,632
その他の包括利益合計	△4,149,966	△2,418,093
四半期包括利益	△1,224,516	9,222,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,406,464	8,880,868
非支配株主に係る四半期包括利益	181,947	341,706

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	58,986,506	6,596,305	5,928,509	10,739,093	82,250,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,595,002	13,547	2,476,438	1,770,147	6,855,135
計	61,581,509	6,609,853	8,404,947	12,509,241	89,105,551
セグメント利益	3,361,412	224,871	238,984	736,498	4,561,766

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,561,766
未実現利益の消去等	22,108
全社費用（注）	△1,587,527
四半期連結損益計算書の営業利益	2,996,348

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「中国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては169,338千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	60,206,373	6,787,997	5,580,172	10,554,374	83,128,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,000,334	3,181	2,582,432	2,790,865	8,376,814
計	63,206,708	6,791,178	8,162,605	13,345,240	91,505,732
セグメント利益	2,088,654	144,435	428,722	1,064,493	3,726,305

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,726,305
未実現利益の消去等	22,448
全社費用(注)	△1,661,811
四半期連結損益計算書の営業利益	2,086,942

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,256,140千円	3,692,446千円

2026年3月期 第3四半期 決算発表 (参考資料)

2026年2月2日

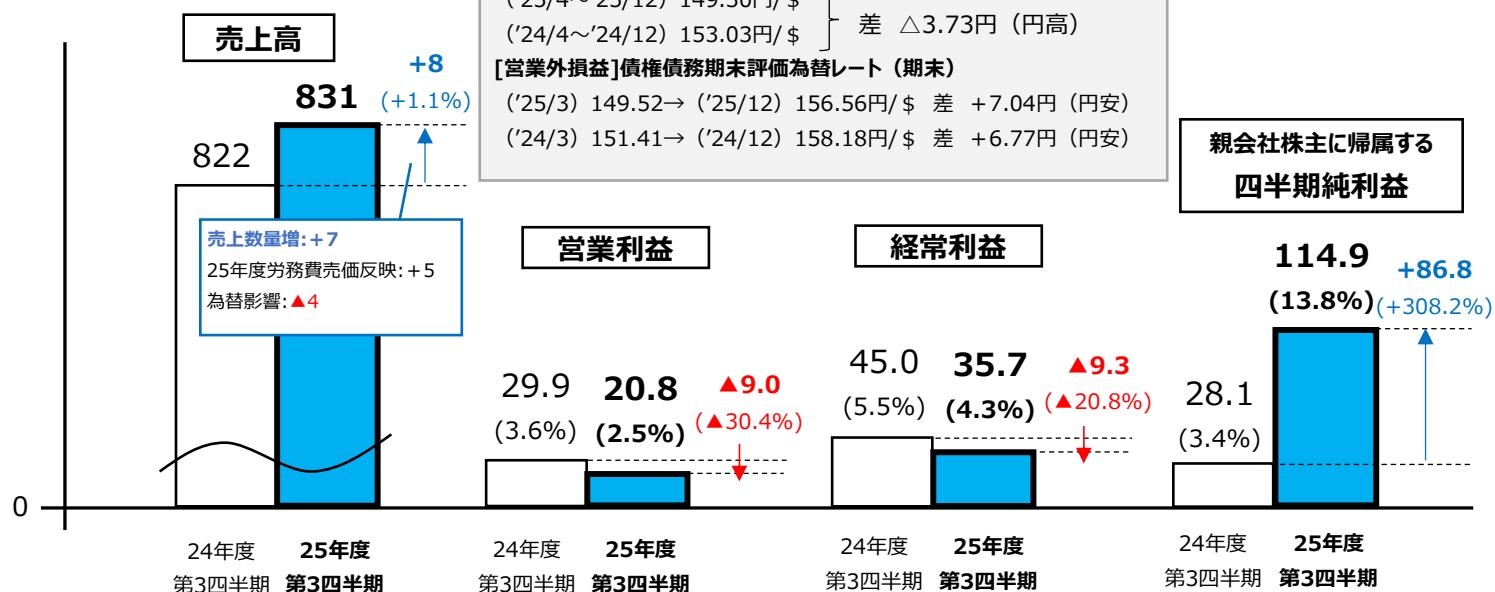
中央発條株式会社

(コード: 5992 東証スタンダード・名証プレミア)

- 売上高 …新製品スタビライザ(ODDS)の出荷の増加及び前年生じた一部の取引先における生産停止影響の解消もあり
国内売上高は増加、海外売上高も一部の地域を除き全体では増加し、グローバル全体では増収。
- 営業利益…売上高増加及び新製品スタビライザなどの高付加価値製品の増加による収益構造改善や直材費低減を柱とする過去最高
レベルの合理化改善を行うも、安全最優先の取組みを強化する方針のもと設備・人的投資を進め、「意志ある固定費」が
増加、また北米関税影響が本格化したことで減益。
(当年度に発生する北米関税影響はほぼ全額を売価反映できる見込み、回収の時期は一部翌年度にずれ込む可能性あり)
- 四半期純利益…経常(営業)利益の減少による減益要因があるものの、保有していた投資有価証券の売却益発生により増益。
(投資有価証券売却によって得た資金は将来成長・経営基盤強化投資に充当)

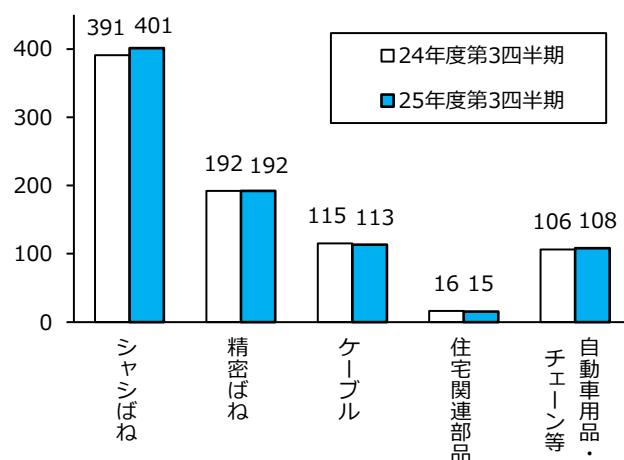
1. 連結決算の状況

(単位: 億円)



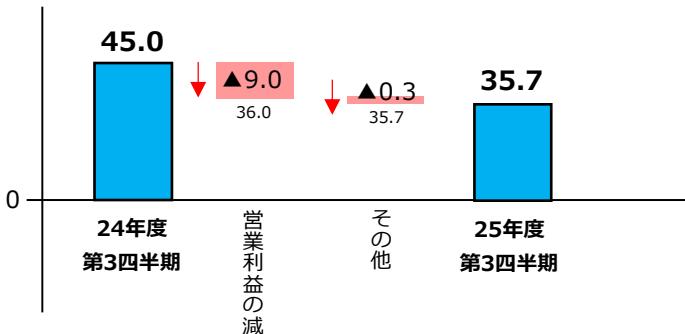
2. 製品別売上高明細

(単位: 億円)



(2) 経常利益

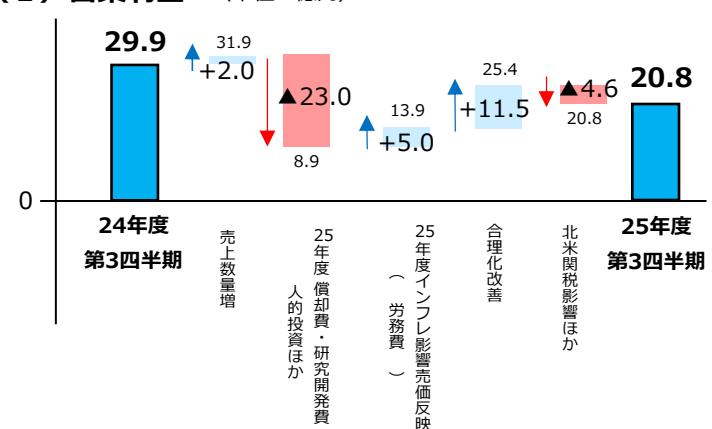
(単位: 億円)



3. 利益の増減要因 (対前年同期比)

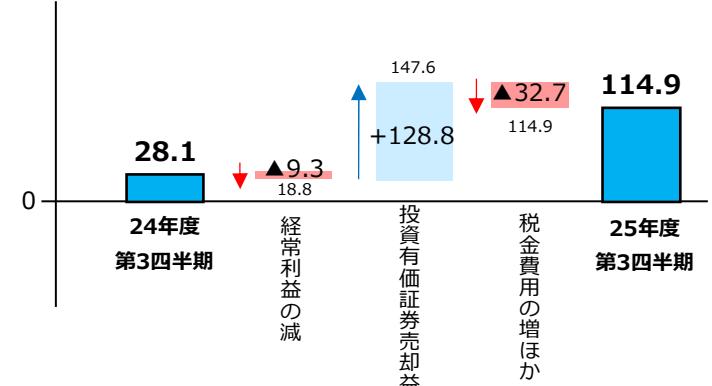
(1) 営業利益

(単位: 億円)



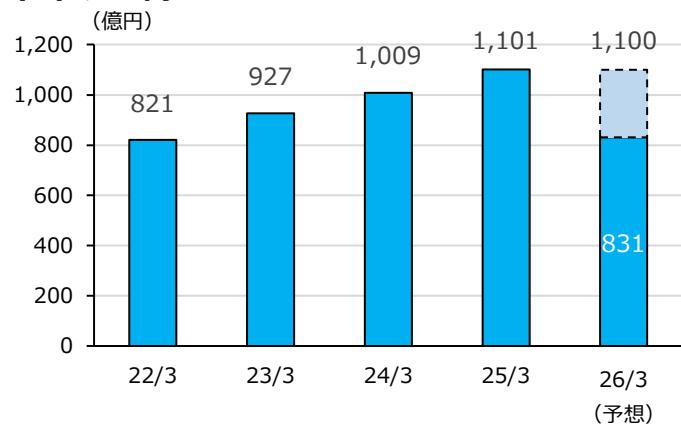
(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位: 億円)

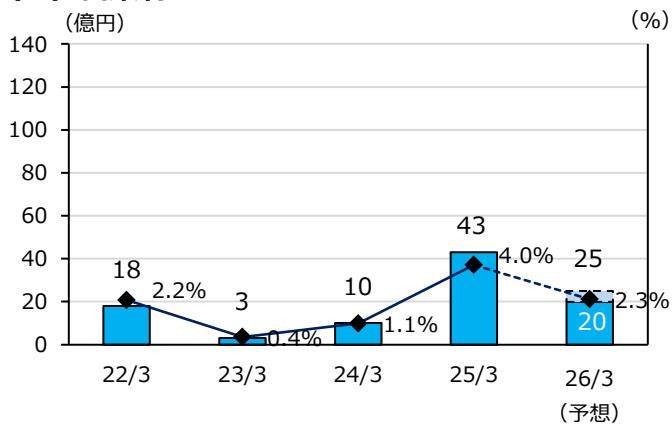


4. 業績推移

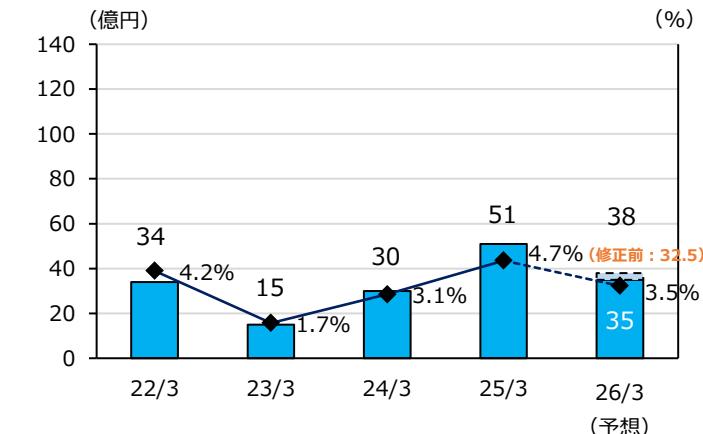
(1) 売上高



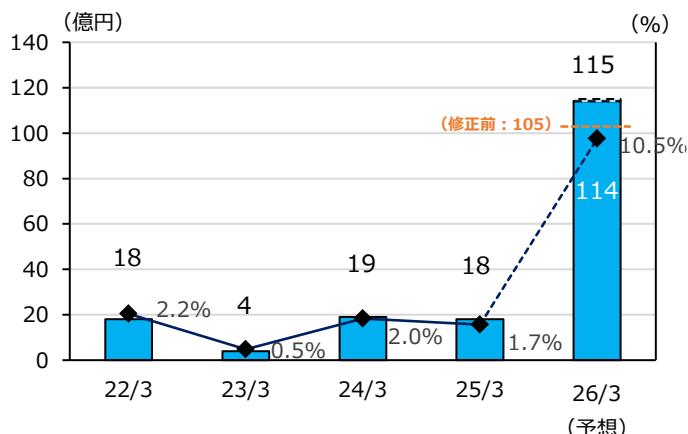
(2) 営業利益



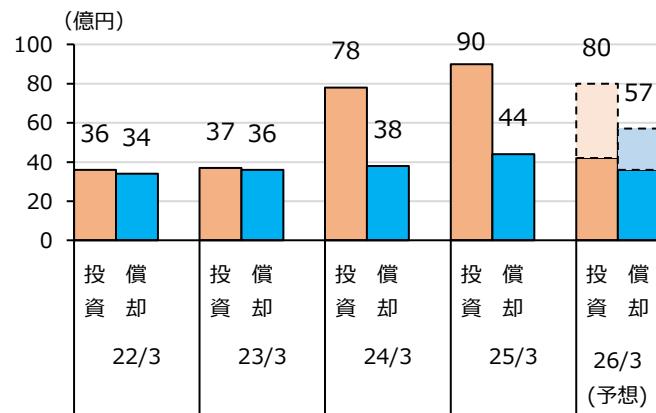
(3) 経常利益



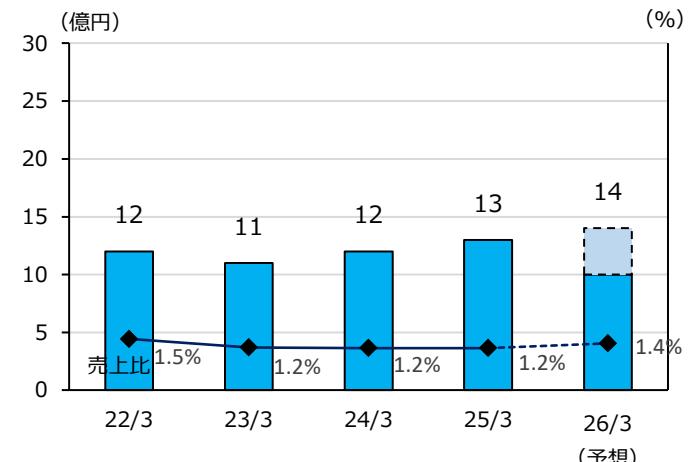
(4) 親会社株主に帰属する当期純利益



5. 設備投資・減価償却費

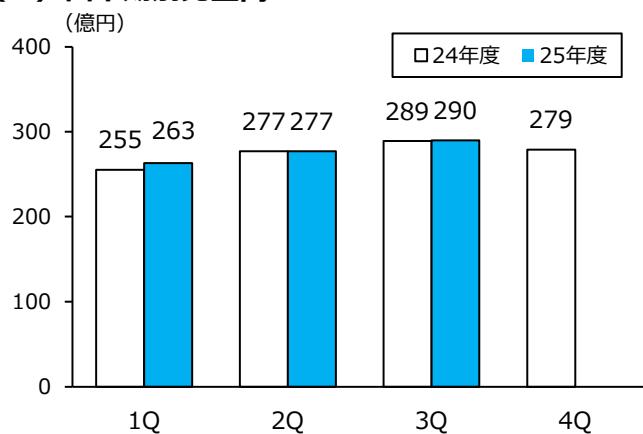


6. 研究開発費

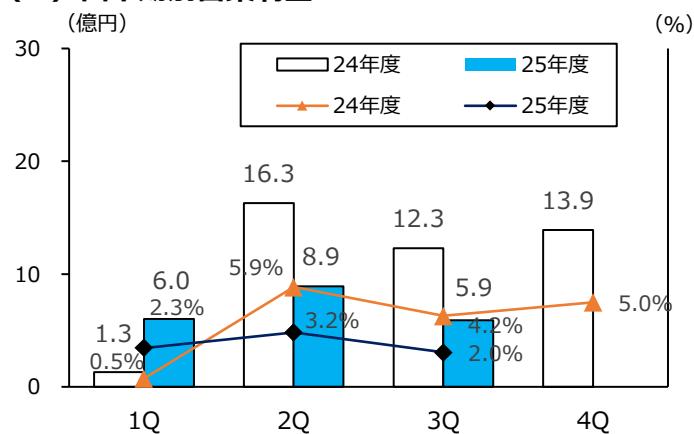


7. 四半期別業績比較

(1) 四半期別売上高



(2) 四半期別営業利益



8. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

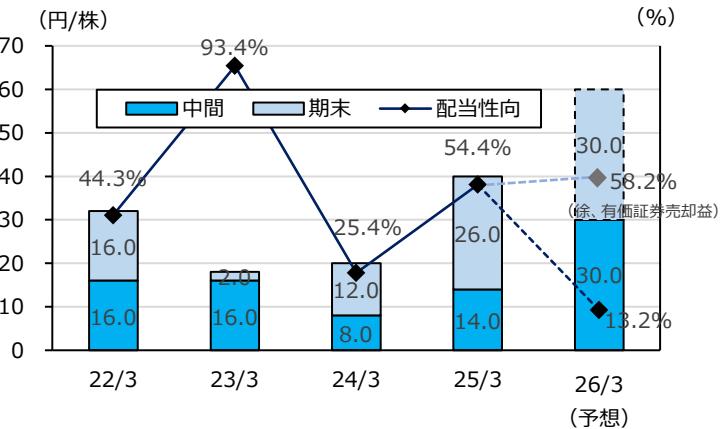
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
通期	1,100	△0.1	25	△43.0	38	△26.2	115	519.8	455.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

9. 貸借対照表 (単位：億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科目	25/03	25/12	増減	科目	25/03	25/12	増減
流動資産	559	662	+103	流動負債	256	295	+38
現金及び預金	216	325	+109	買入債務	138	137	△0
売上債権	187	178	△8	借入金	6	33	+26
棚卸資産	139	141	+1	その他	111	124	+12
その他	16	16	+0	固定負債	361	318	△43
				借入金	230	200	△30
				その他	130	117	△13
固定資産	869	837	△31	(負債計)	618	613	△4
有形固定資産	395	410	+15	株主資本	515	616	+100
無形固定資産	2	2	+0	その他包括利益累計額	252	225	△26
投資その他資産	471	424	△46	非支配株主持分	42	44	+1
計	1,429	1,500	+71	(純資産計)	810	886	+76
				計	1,429	1,500	+71

10. 配当金・配当性向



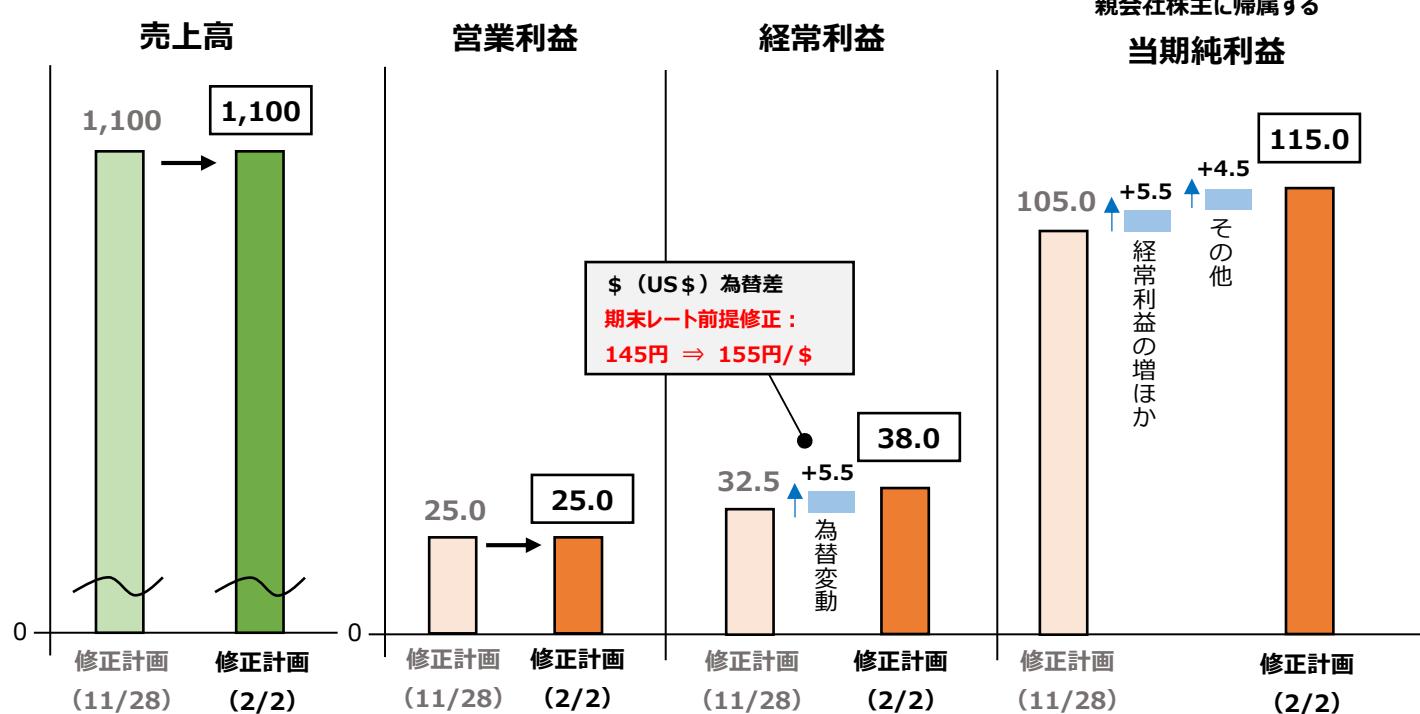
(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

11. 2026年3月期 26/2/2公表 修正計画 vs 25/11/28公表 修正計画

■修正ポイント

- 売上高・営業利益…当初計画通りに推移しているため、据置。
- 経常利益・当期純利益…期末為替レート想定を円安方向に修正したことによる為替評価差益の発生に伴い増益予想。

(単位：億円)



<参考> 2026年3月期 第3四半期実績から26/2/2公表修正計画までの推移

(単位: 億円)

